

山梨県考古学協会 2026年度 研究集会

甲斐条里研究会 講演会・研究報告会

条里制が現地でどのように適用・運用されたのか、文献史学・考古学・歴史地理学等を総合して考察します。

講演

条里の現地適用とランドマーク

—「額田寺伽藍並条里図」の事例から—



講師 山口英男 氏

東京大学名誉教授

1958年、東京都生まれ。東京大学文学部卒業・同大学院博士課程中退。博士（文学）。東京大学史料編纂所助手・助教授・教授。山梨県史専門調査員（1990～2003年）。2024年、東京大学名誉教授。著書に『古代荘園図に見る寺域の構成—額田寺の伽藍と寺領—』『山梨県史』（共同執筆）『日本古代の地域社会と行政機構』『読み解き古代史料』（共著）など

報告1

古代甲斐国 山梨郡と巨麻郡の境界について

川崎 剛 氏（甲斐条里研究会）

報告2

古代巨麻郡「国図の条里プラン」復原の試み

清水芳彦 氏（甲斐条里研究会）

2026年3月28日（土） 午後1時20分～5時（開場 午後1時）

会場 帝京大学文化財研究所大ホール 笛吹市石和町四日市場1566-2

主催：山梨県考古学協会（甲斐条里研究会）

申込みは不要です

お問合せ：055-263-6441（山梨文化財研究所）